

藤沢市議会史

記述編

藤沢市議会史

記述編

昭和44年度—63年度

題 字 第23代市議会議長
山本 捷雄



緑の江の島をはじめ、美しい自然を残す湘南海岸



35万都市藤沢の玄関口として発展が著しいJ R 藤沢駅周辺

歴 代 議 長



第 14 代
仲 戸 桃 人



第 13 代
平 綿 宗 司



第 15 代
山 下 正 美



第 17 代
山 本 幸 男



第 16 代
古 谷 正 一



第 19 代
松山三之助



第 18 代
広谷甲二



第 20 代
渡辺光男



第 22 代
長谷川忠勤



第 21 代
内田松男



第 24 代
桜井正平



第 23 代
山本捷雄



第 26 代
井上正一郎



第 25 代
平沢信雄

歴代副議長



第 18 代
鈴木清治



第 17 代
加藤庄太郎



第16・19代
佐藤樂造



第 22 代
古郡民雄



第 21 代
加藤 照



第 20 代
加藤三郎



第 25 代
浅野明夫



第 24 代
川口 功



第 23 代
平川正雄



第 28 代
井上正一郎



第 27 代
岸本英夫



第 26 代
野島一三



第 31 代
黒江真子



第 30 代
小川竹次郎



第 29 代
内田末吉



第 32 代
中山五福



発刊のことば

藤沢市議会議長

井上正一郎

藤沢市制施行五十周年という意義ある節目を記念して、昭和六十二年度から編さんしてまいりました市議会史が「資料編」、「年表」に続いて、これらの集大成としてここに「記述編」を発刊する運びとなり、誠に喜びにたえません。

今回の「議会史」は、昭和四十五年に市制三十周年を記念して刊行した「議会史」の言わば続編とも言うべきものであり、昭和四十四年度から昭和六十三年度までの二十年間について編さんしたものであります。

昭和十五年十月一日人口約三万六千人をもって、藤沢市が誕生して以来、今日の発展をみるまでの過程は決して平坦な道のりではなく、幾多もの困難な諸問題も先人、先輩の英知と不断の努力を経て、今日の藤沢市をみる事ができたわけであります。

この間、著しい人口の増加に加え、二度にわたる石油ショックのなかで従来にも増し福祉、教育施設等の充実が図られました。

一方、今日におきましても、地方自治体をとりまく環境は、大変厳しいものがあります。「湾岸戦争」をめぐって我が国の政治、経済は、大きく揺れ動き、地方自治体にも経済的に大きな影響を及ぼしました。

また、二十一世紀を目前にひかえ、ますます高齢者人口が増加するなか、高齢化社会に向けて老人福祉の推進や、ごみを含む環境問題等大きな課題が山積みされております。

このようななか、先人・先輩が藤沢市の伸展のため、日夜努力を重ねられた足跡を顧み、明日の魅力ある人間都市藤沢を築くための道標を探求する必要があります。

本書につづられた議会活動の足跡は、本市が大きく飛躍した二十年間の貴重な資料であり、市政の推移を把握するうえで好個のものであると信じます。

終わりに、本史刊行に当たりまして、監修並びに執筆にあられました先生方の精力的なご努力に深く敬意を表するとともに、編さんにご協力いただいた関係各位に心から感謝を申し上げる次第であります。

平成三年九月二十日



発刊の祝辞

藤沢市長

葉山 峻

このたび、「藤沢市議会史―記述編」が、刊行の運びとなりましたことを、心からお喜び申し上げます。

資料編・年表・記述編の三編構成からなる「藤沢市議会史」は、市制施行五十周年を記念して編さんされました。五十周年であった昨年は、二十一世紀を目指した藤沢の未来へつなぐ、輝かしく、また意義深い一年でした。これも、歴代正・副議長はじめ議員各位が、藤沢の発展のために、情熱を傾けられ、ご尽力された賜ものであり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

昭和十五年、人口三万六千あまりの小さな地方都市として誕生した藤沢は、戦後、日本の経済の変動の波を受けながらも、自然環境に恵まれた住宅都市として、農・工・商のバランスのとれた産業都市として、また近年は学園文化都市として、大きく発展をとげてまいりました。そして、五

十周年を一つの土台として、今年度から、二十一世紀へ向けて「共生・活力・創造」の三つの理念をもとに第二次新総合計画をスタートさせました。高齢化、国際化、高度情報化、地球環境、平和と自治など数多くの課題があるなかで、これからも、市議会の皆さんのご理解、ご協力を得ながら進めてまいれる所存です。

この時にあたり、主にこの二十年の藤沢の発展の歴史を明らかにした「藤沢市議会史」の発刊は、必ずや、藤沢の未来をひらく道しるべとなることと思います。

終わりに、本書の編さんにあたられた諸先生方並びに関係各位のご努力に感謝申し上げますとともに、本書が、市民と議会・市が共同して「人間都市・藤沢」をつくることに大きく貢献されることを祈念して、お祝いのごことばといたします。

平成三年九月二十日

監修のことは

国学院大学法学部教授 高木 鉦 作

横浜国立大学大学院
国際経済法学研究科教授 天川 晃

わたしたちは、この『藤沢市議会史』の監修を行うにあたって、二つのことを念頭に置いた。一つは、この市議会史が藤沢市議会にとっては二度めの市議会史の刊行であることであり、もう一つは、今回の市議会史の編さんに当たって定められた「藤沢市議会史編さん基本方針」に基づいて市議会史を構成することである。

この二つの要請をどのように満足させるかについて何度か編集委員会で議論を重ねた結果、資料編については、前回の市議会史との継続性を重視して、市議会に関する基本的資料を収録することとしたが、記述編に関しては、前回とは異なって、市議会の活動を中心に記述をするという内容構成をとることとしたのである。

今回の編集と執筆に際しては、資料の準備から校正にいたるまで議会事務局の全面的な協力をい

いただいた。また、歴代の議長・副議長、各会派の議員、さらに市長、行政関係者からのヒアリングを行って、文書資料では得られない生きた議会の姿を伺うことができ、それらはこの記述編で活用させていただいた。この場を借りて、関係者各位に厚くお礼を申し上げておきたい。

また、わたしたちが無理な注文をつけたにもかかわらず、「よりよい藤沢市議会史を作ろう」と努力して執筆いただいた編集委員各位にも、心からお礼を申し上げます。

最後に、遅れがちなわたしたちの作業を見守りつつも激励を絶やさなかった議会史編さん委員会、そして議会事務局の関係者の方々に、多大のご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、わたしたちが目指した新しい議会史の試みに深いご理解をいただいたことに対し心から感謝を申し上げます。

平成三年九月二十日

凡 例

一 今回の藤沢市議会史は、昭和六二年九月に定めた「藤沢市議会史編さん基本方針」に基づき、記述編・資料編・年表とに分けて編さんした。この記述編は、右の基本方針による編さん対象期間（昭和四四年度～六三年度）における市議会の活動を中心に記述した。

二 記述編の執筆にあたっては、資料編の編さんに使用した市議会の記録および議会事務局・市長部局等が作成した文書・刊行物のほか、各種新聞の関係記事を参考とし、市議会議員（現・前・元）をはじめ関係者から聞き取り調査を行い、編さん基本方針に基づき、できる限り平易・公平かつ客観的な記述に努めた。

三 記述編は章・節・項をもって構成した。

昭和一五年一〇月市制施行時に在職した市議会議員の任期を第一期とする市議会の活動を起算とし、本編の編さん対象期間に対応して、各期ごとに章を設けた。また、序章で本市市制施行以来の市議会と市政を概観し、市議会のしくみを解説した。

各期の年度ごとに節を設け、さらに各期の冒頭で「四年間の概観」をまとめた（毎回の市議会議員選挙が執行される年度で、四月に開催された臨時会は、前期の節に含めた）。

原則として市議会の定例会・臨時会ごとに項を設けた。各会議のうちで特記すべき事項については、各項のうちで別に項目または見出しを付して利用の便に資することとした。

四 用語・用字は、「現代かなづかい」により、なるべく常用漢字の範囲にとどめ、さらに「ふじさわ市議会だより」に準じ、平がなを用いた。ただし、固有名詞・引用文・慣用語については例外とした。

例 五年号は、見出しの場合は元号を表記し、本文中は原則として元号は付さない。また西暦は特別の場合を除いて用いなかった。

凡 六 数字（年月日を含む）は、万以上については、万・億・兆の単位語を用い、千・百・十は使用しない。ただし、熟語・成句・固有名詞は和数字を用いた。

七 度量衡の単位は、「キロメートル」「ヘクタール」「パーセント」とした。

八 表は、各節ごとにそれぞれ通し番号に当該年度の数字を付した。ただし、序章の各節および各章第一節（概観）は、節中の通し番号のみとした。

九 引用文は原文を尊重し、市議会の記録類および議会報（ふじさわ市議会だより）についての引用には典拠を省略した。また、やむを得ない場合を除き、注記は原則として行わなかった。

一〇 原則として人名は肩書を付した呼称を用い、氏名は各項または項目の最初に登場する際のみ姓・名を記し、以後は姓のみとした。選挙の立候補者は、選挙期間中は現議員とし、選挙後は前議員とした。

一一 会派の名称は通常用いられる略称に拠った。

一二 本会議（定例会・臨時会）の名称は、『藤沢市議会先例集』第三卷（定例会・臨時会の呼称）に拠った。

一三 議案・条例等の名称は略記した場合がある。

一四 執筆は各章を別記により分担し、監修者が全体の調整を図った。

記述編の執筆分担

序章	藤沢市の五〇年と市議会	天川委員
第一章	第八期後半の市議会 (昭和四四年度～四五年度)	高野委員
第二章	第九期の市議会 (昭和四六年度～四九年度)	高野委員
第三章	第一〇期の市議会 (昭和五〇年度～五三年度)	小原委員
第四章	第一一期の市議会 (昭和五四年度～五七年度)	辻委員
第五章	第二二期の市議会 (昭和五八年度～六一年度)	岡田委員
第六章	第一三期前半の市議会 (昭和六二年度～六三年度)	岡田委員

総目次

口絵

発刊のことば……………藤沢市議会議長 井上正一郎

発刊の祝辞……………藤沢市長 葉山 峻

監修のことば……………国学院大学法学部教授 高木 鉦作
横浜国立大学大学院 国際経済法学研究科教授 天川 晃

凡例

序 章 藤沢市の五〇年と市議会……………一

第一節 藤沢市の五〇年……………一

第二節 市議会の仕組みと活動……………一六

第三節 藤沢市議会の特徴……………三〇

まとめ……………三三

第一章 第八期後半の市議会（昭和四四年度～四五年度）……………三三

——都市開発の推進と生活環境——

第一節	二年間の概観	三
第二節	昭和四四年度	五
第三節	昭和四五年度	一五
第二章	第九期の市議会（昭和四六年度～四九年度）	一五
	——葉山市政の登場と藤沢市議会——	
第一節	四年間の概観	一五
第二節	昭和四六年度	一八
第三節	昭和四七年度	二七
第四節	昭和四八年度	二九
第五節	昭和四九年度	三三
第三章	第一〇期の市議会（昭和五〇年度～五三年度）	四一
	——四大プロジェクトの推進と市議会の対応——	
第一節	四年間の概観	四一
第二節	昭和五〇年度	四五
第三節	昭和五一年度	四五

第四節	昭和五二年度	五五
第五節	昭和五三年度	五九
第四章	第一期の市議会（昭和五四年度～五七年度）	六五
	——「北口」の後始末と「行革」の時代——	
第一節	四年間の概観	六五
第二節	昭和五四年度	六六
第三節	昭和五五年度	六九
第四節	昭和五六年度	七〇
第五節	昭和五七年度	七四
第五章	第一二期の市議会（昭和五八年度～六一年度）	八五
	——議会の活性化と野党攻勢——	
第一節	四年間の概観	八五
第二節	昭和五八年度	八六
第三節	昭和五九年度	八七
第四節	昭和六〇年度	九二

第五節 昭和六一年度 九六三

第六章 第一三期前半の市議会（昭和六二年度～六三年度） 一〇一五

——昭和の終焉と消費税の導入——

第一節 二年間の概観 一〇一五

第二節 昭和六二年度 一〇三三

第三節 昭和六三年度 一〇五九

藤沢市議会史編さん基本方針 一〇七

藤沢市議会史編さん要綱 一〇九

藤沢市議会史編集委員会設置規程 一一三

あとがき

市議会史編さん委員会

編集関係者

細目次

口絵

発刊のことば

藤沢市議会議長

井上正一郎

発刊の祝辞

藤沢市長

葉山峻

監修のことば

国学院大学法学部教授
横浜国立大学大学院
国際経済法学研究科教授

高木 鉦作
天川 晃

凡例

序 章 藤沢市の五〇年と市議会

第一節 藤沢市の五〇年

一 藤沢市五〇年の概観

市域と人口の変化 産業構造の変化と地域バランス

二 市政の課題と行財政構造

総合計画と市政の課題 市の財政構造 市の行政組織

第二節 市議会の仕組みと活動

一 市政・市議会・市民

二	市議会のサイクル	一九
	四年のサイクル	一九
	一年のサイクル	一九
	定例会のサイクル	一九
三	市長と市議会	二六
	市長と市議会	二六
	市議会の会派	二六
	議会事務局	二六
四	市民と市議会	三
	議員の活動	三
	議長・副議長	三
	市民と議会	三
第三節	藤沢市議会の特徴	三五
一	昭和四〇年代以後の藤沢市議会	三五
	市議会議員選挙	三五
	議員構成の変化	三五
	会派の構成	三五
	与党と野党	三五
	議会の役員	三五
二	比較のなかの藤沢市議会	三六
	神奈川県下の市議会との比較	三六
	人口三〇万都市との比較	三六
	まとめ	三六
第一章	第八期後半の市議会（昭和四四年度～四五年度）	三九
	——都市開発の推進と生活環境——	三九
第一節	二年間の概観	三九
一	高度経済成長と環境破壊	三九
	長期安定政権と多党化	三九
	高度経済成長の持続	三九
	公害問題の深刻化	三九

二	都市化の進展と市議会	五
	藤沢市域の変貌と市政 藤沢市議会の動向 市政の課題と市議会の活動	
第二節	昭和四四年度	五
一	昭和四四年四月臨時会（四月一六日）	五
	都市開発部汚職容疑事件	
二	昭和四四年六月定例会（六月一六日～六月三〇日）	七
	行政機構の大幅改革 市民病院建設基本計画への関心 北部学校給食センター食	
	中毒事件 新湘南港建設反対請願の不採択 議員表彰	
三	昭和四四年七月臨時会（七月二二日）	七
	河川をきれいにする都市宣言	
四	昭和四四年九月定例会（九月一九日～九月二十九日）	八
	西部開発関連議案の審議 補正予算の審議〔河川浄化対策 市民病院建設〕	
	新都市計画法による線引き問題	
五	昭和四四年一二月定例会（一二月一二日～一二月二〇日）	九
	公共用地の取得対策―土地開発基金条例・債務負担行為の変更 国鉄藤沢貨物駅	
	跡地と北口再開発 昭和四三年度決算認定の審議―民間エネルギー導入論	
六	昭和四五年一月臨時会（一月二〇日～一月三〇日）	九
	保守二会派の改称 昭和四三年度決算の認定 新湘南港関係請願の採択と建設反	
	対意見書	

七	昭和四五年三月定例会（三月六日～三月二十七日）	104
	施政方針演説と代表質問 給食センター方式に関する論議 西部開発と民間デベ ロッパー	
	第三節 昭和四五年度	
一	昭和四五年五月臨時会（五月一日）	115
二	昭和四五年六月定例会（六月一六日～六月二九日）	116
	大庭台墓園条例の制定 市長・市議会議員等の給料・報酬の改定 児童生徒数の 増加と学校建設 一般質問—環境問題への関心 議員表彰	
三	昭和四五年七月臨時会（七月二九日）	116
	南部学校給食センターの着工	
四	昭和四五年九月定例会（九月一日～九月二二日）	116
	〔市議会議場整備の完成〕 一般会計補正予算の審議 高齢者失業対策事業実施請 願の逆転不採択 名誉市民の選定 一般質問—公害対策と北口再開発への関心	
五	昭和四五年十一月臨時会（十一月一九日）	116
	〔ごみ焼却炉建設工事議案〕 交通死亡事故の激増	
六	昭和四五年十二月定例会（十二月一日～十二月二二日）	116
	〔失業対策事業に関する要望決議〕 建築協定に関する条例の制定 昭和四四年 度決算と超過負担解消の意見書	

七	昭和四六年一月臨時会（一月二三日と一月二七日） 昭和四四年度決算の認定	一四六
八	昭和四六年三月定例会（三月一日と三月二二日） 五特別委員会の総括報告〔藤沢駅北口再開発 西部開発市民分譲予定価格問題〕 昭和四六年度予算編成方針―環境保全と福祉施策の重視 代表質問―環境・福祉・ 開発 生活環境確保基本条例と生活環境部の設置	一五〇
九	昭和四六年四月臨時会（四月二日）	一五三
	第二章 第九期の市議会（昭和四六年度～四九年度） ——葉山市政の登場と藤沢市議会——	一五五
	第一節 四年間の概観	一五五
	一 オイル・ショックと高度経済成長の終焉	一五五
	田中角栄内閣の登場と日本列島改造論 オイル・ショックからスタグフレーションへ	一五五
	二 転換期の藤沢市議会	一五七
	市域の変化と市政 藤沢市議会の動向 党派関係と市議会の活動	一五七
	第二節 昭和四六年度	一六〇
	一 市議会議員選挙と党派構成の変動（四月二五日）	一六〇

二	昭和四六年五月臨時会(五月二日)	一八
三	昭和四六年六月定例会(六月一〇日～六月二二日)	一八五
	緑の保全および緑化の推進に関する条例 日本電気硝子工場の公害問題〔日電硝子公害問題についての議員全員協議会 公害対策特別委員会での論議 日電硝子公害関連の一般質問〕 三陸ファイバーグラス工場移転請願 議員表彰	
四	昭和四六年七月臨時会(七月二七日)	一九五
五	昭和四六年九月定例会(九月三日～九月一四日)	一九六
	ドル・ショックと補正予算審議 西部開発事業への批判 一般質問―日電硝子公害の経過	
六	昭和四六年一〇月臨時会(一〇月二五日)	二〇五
七	昭和四六年一二月定例会(一二月三日～一二月二二日)	二〇六
	〔会期の一日間延長〕 昭和四五年年度の決算認定〔墓園条例の一部改正〕 市民病院の開院と市議会での論議 一般質問での西部開発問題と日電硝子公害問題	
八	昭和四七年一月臨時会(一月二九日～二月一日)	二〇六
	市民会館職員不正事件 金子市長の退任	
九	昭和四七年二月市長選挙(二月二〇日)	二一九
	市長候補者の決定 選挙戦の様相 葉山峻候補の勝利	
一〇	昭和四七年三月定例会(三月九日～三月三〇日)	二二六
	〔道路建設をめぐる請願審査〕 昭和四七年度暫定予算の審議〔市議会の空転	

	代表質問の内容 葉山市長の答弁 一部議案修正と代表討論	
第三節	昭和四七年度	三三
一	昭和四七年四月臨時会(四月二八日)	三七
二	昭和四七年五月臨時会(五月二三日)	三六
	伊草昇助役の就任	
三	昭和四七年六月定例会(六月九日～七月四日)	三九
	〔会期の四日間延長〕 〔道路課職員の汚職容疑事件に関する緊急質問〕 施政方針演説と代表質問〔住民参加と都市計画〕 代表討論と二議案の否決 西部開発事業非公開文書の発表 議員表彰	
四	昭和四七年七月臨時会(七月二七日)	三五
五	昭和四七年九月定例会(九月一九日～一〇月三日)	三五
	審議日程の調整 二つの無担保融資条例案の審議〔本会議での説明と質疑 経済観光衛生常任委員会での審査と両議案の撤回〕 一般質問 要綱による人口抑制・緑化施策の展開	
六	昭和四七年十一月定例会(十一月四日～十二月二日)	三五
	医療費無料化と学校事故補償をめぐる論議 補正予算の審議 一般質問	
七	昭和四八年一月臨時会(一月一七日)	三七
	宅地並み課税に関する市税条例改正議案	
八	昭和四八年二月臨時会(二月五日)	三七

九	昭和四八年二月臨時会(第二回・二月二三日～二月二十八日)……………	三五
	宅地並み課税関連議案の審議〔本会議での質疑 三議案の否決〕	
一〇	昭和四八年三月定例会(三月八日～三月三〇日)……………	二八
	施政方針と予算等の大綱説明 代表質問 行政機構の全面改革と生活経済公社の 設立〔事務分掌条例の全部改正 生活経済公社の新設とその事業内容〕 予算等 特別委員会の審査〔新政議員団の分裂 刷新議員団の誕生〕 代表討論	
第四節 昭和四八年度……………		
一	昭和四八年五月臨時会(五月九日～五月一二日)……………	二八
	〔市職員ストライキに関する緊急質問〕 宅地並み課税条例の可決	
二	昭和四八年六月定例会(六月六日～六月一九日)……………	三〇
	〔初の国外行政視察〕 議案の審議 藤沢橋交通公害と藤沢橋周辺環境改善対策 特別委員会の設置 一般質問〔産業廃棄物処理場公害 県立高校建設の増設要望〕 議会内人事の調整と会期延長〔監査委員人事 副議長人事〕 議員表彰	
三	昭和四八年七月臨時会(七月一日～七月一四日)……………	三五
	収入役再任人事をめぐる混迷	
四	昭和四八年八月臨時会(八月二八日)……………	三七
五	昭和四八年九月定例会(九月一日～九月二二日)……………	三八
	補正予算の審議〔本会議質疑での論点 総務企画常任委員会での審査と補正予算 の可決〕 一般質問〔卸売市場用地の取得見通し 藤沢駅周辺への大型店舗進出	

	問題)	三九
六	昭和四八年一〇月臨時会(一〇月一八日)～一〇月二〇日)	三九
七	昭和四八年二月定例会(二月五日)～二月二四日)	三〇
	〔保留地落札に関する緊急質問〕 昭和四七年度決算の認定と經常収支比率の悪 化 オイル・ショックと市議会 指定金融機関二行制案の継続審査 その他の議 案審議〔乳児医療費助成条例の制定 藤沢駅北口再開発事業施行条例の制定〕 一般質問〔自衛隊員募集事務停止論議と自然閉会〕	
八	昭和四九年一月臨時会(一月一八日)	三〇八
	〔指定金融機関二行交替制案の可決〕	
九	昭和四九年二月定例会(二月二五日)～三月二〇日)	三二〇
	〔土地開発公社の設立と土地先行取得事業費特別会計の廃止〕 昭和四九年度の 施政方針と予算大綱説明〔三カ年実施計画〕 オイル・ショック後の経済情勢と 予算審議〔市民生活緊急防衛条例の制定〕 週休二日制の導入 西部開発事業の 状況 昭和四九年度予算関連議案の可決	
第五節	昭和四九年度	三三三
一	昭和四九年四月臨時会(四月二三日)	三三三
二	昭和四九年六月定例会(六月一〇日)～六月二四日)	三三五
	〔市営住宅の払い下げ請願〕 議案審議の状況 市役所火災に関する論議 一般 質問〔卸売市場問題 給食費の値上げとA F 2の安全性〕 議員表彰	

三	昭和四九年九月定例会（九月一三日～九月二七日）	三三					
	補正予算の審議〔労働会館建設費をめぐる論議〕	その他の議案審議〔学校事故措置条例の制定 市民税法人割税率の引き上げ〕	一般質問〔大型店舗開店の衝撃〕	二つの値上げ反対意見書			
四	昭和四九年二月定例会（一月二十九日～二月十九日）	三六					
	昭和四八年度決算の認定	議案審議の状況〔市議会会議規則等の改正〕	一般質問	葉山市長の海外視察問題			
五	昭和五〇年二月定例会（二月二十五日～三月二〇日）	三九					
	〔西部地域開発特別委員会の報告〕	施政方針と昭和五〇年度予算大綱説明〔予算関連単行議案〕	代表質問における自治体財政危機をめぐる論争	北口再開発事業と大型店舗導入構想	その他の代表質問〔新総合計画策定の構想	中央卸売市場の具体的計画内容〕	昭和五〇年度予算等関連議案の可決
六	昭和五〇年四月臨時会（四月七日）	四四					
第三章	第一〇期の市議会（昭和五〇年度～五三年度）	四五					
	——四大プロジェクトの推進と市議会の対応——						
第一節	四年間の概観	四五					
一	国の動き	四五					
	高度経済成長の終焉と過渡期の対応策	自民党政権の混迷					

二	藤沢市政と市議会の動き	四二〇
	革新自治体の転換期 市政運営の条件と課題 議会運営の概況	
第二節	昭和五〇年度	四三〇
一	市議會議員選挙と会派構成の変動(四月二七日)	四三五
二	昭和五〇年五月臨時会(五月二日)	四三六
三	昭和五〇年六月定例会(六月一日)六月二三日	四四一
	地震対策条例の制定 北口再開発事業の推進と議会の対応 一般質問 議員表彰	
四	昭和五〇年九月定例会(九月一七日)一〇月二日	四五一
	宅地市民分譲条例の制定 財政危機への対応 一般質問〔下水道計画 消費者保護行政 北口再開発ビルの核テナント導入問題 中央卸売市場の用地買収〕 緊急動議	
五	昭和五〇年十一月定例会(十一月二六日)十二月一九日	四六一
	昭和四九年度決算の審議 職員給与の改定 一般質問〔北口再開発ビルの核テナント導入問題 葉山市政四年間の評価〕	
六	昭和五一年二月市長選挙(二月二二日)	四七一
七	昭和五一年二月定例会(三月五日)三月二六日	四七三
	昭和五一年度予算の審議〔市長の施政方針 代表質問 委員会審査と代表討論〕 労働会館条例の制定	

第三節 昭和五一年度	四八五
一 昭和五一年四月臨時会（四月二日～四月一九日）	四八五
二 昭和五一年六月定例会（六月二日～七月二日）	四八五
使用料・手数料等の改定 一般質問〔幼保天国構想 中央卸売市場開設の準備保 留地の課税 暴走族対策〕 議員表彰	
三 昭和五一年九月定例会（九月一日～九月三〇日）	四八六
湘南ライフタウン住宅新設工事 公民館条例の改正 行政財産の目的外使用 一 般質問〔北口再開発事業 ごみ問題 心身障害児教育〕 緊急動議 副議長の選 挙	
四 昭和五一年二月定例会（二月七日～二月二三日）	四八八
昭和五〇年度決算の審議 北口再開発ビルの核テナント公募経過と今後の対応 策 一般質問〔昭和五二年年度予算編成方針 福祉教育 下水処理場問題〕	
五 昭和五二年二月臨時会（二月七日～二月八日）	四八八
六 昭和五二年二月定例会（二月二八日～三月二四日）	四八二
美ヶ原市民休暇村ふじさわ山荘の取得 昭和五二年年度予算の審議〔市長の施政方 針 代表質問 委員会審査と代表討論〕	
第四節 昭和五二年度	四八五
一 昭和五二年六月定例会（六月二三日～六月三〇日）	四八五
下水道条例の改正 北口再開発ビルの核テナント出店問題と議会の対応 一般質 問	

	問〔老人福祉 ぐみ問題 下水道事業 学校教育〕 役員の改選 議員表彰	
二	昭和五二年八月臨時会（八月二十九日）	五七
三	昭和五二年九月定例会（九月一三日～九月三〇日）	五八
	辻堂南部都市計画道路の対処策 北口再開発ビル核テナント調整委員会の答申と今後の対応策 一般質問〔高齢者等就労事業団 ぐみ問題 心身障害児教育と学校教育〕 名誉市民の選定	
四	昭和五二年一〇月臨時会（一〇月二二日）	五九
五	昭和五二年一二月定例会（一月二八日～二月二二日）	六一
	昭和五一年度決算の審議 一般質問〔昭和五三年度の予算編成方針と行財政改革 北口再開発事業 中小企業の振興策 青少年の育成 老人福祉 図書館行政 女性職員の登用 米軍機墜落事故〕 議員表彰	
六	昭和五三年一月臨時会（一月一八日）	五七
七	昭和五三年二月定例会（二月二七日～三月二四日）	五七
	元号の法制化 昭和五三年度予算の審議〔市長の施政方針 代表質問 委員会審査と代表討論〕	
第五節	昭和五三年度	五九
一	昭和五三年六月定例会（六月二二日～六月二九日）	五九
	粗大ごみ破砕機の導入 公社による土地の先行取得 一般質問〔東急ストアの火災事故 北口再開発事業 下水道事業 心身障害児教育〕 役員改選と会派構	

	成の変動 議員表彰	六〇
二	昭和五三年九月定例会（九月一四日～九月二九日）	六〇
	公社の経営状況 一般消費税導入案に対する対応 一般質問〔北口再開発事業 地震対策 ごみ問題 教育施設の拡充 都市経営の効率化 消費者金融対策 自 転車駐車場の整備〕	
三	昭和五三年一月臨時会（一月一七日～一月一八日）	六三
四	昭和五三年一月定例会（一月二七日～二月二日）	六八
	昭和五二年度決算の審議 昭和五三年度補正予算の審議 学校給食の改善 一般 質問〔市街化区域内の農業振興策 心身障害児等の福祉と教育 昭和五年度の 予算編成方針〕	
五	昭和五四年二月定例会（二月二六日～三月二四日）	七三
	昭和五四年度の予算審議〔市長の施政方針 代表質問 委員会審査と代表討論〕 正副議長の選挙	
	第四章 第一一期の市議会（昭和五四年度～五七年度）	七五
	——「北口」の後始末と「行革」の時代——	
	第一節 四年間の概観	七五
一	一 国の動き	七五
	〔自民党内の「四〇日間抗争」 内閣不信任案の可決と衆参同日選挙 鈴木（善）	七五

	内閣と第二臨調の設置	
二	藤沢市政の動き	六四
三	藤沢市議会の動き	六五
	〔開催状況と議案の処理状況 定数・会派構成・役職〕	
第二節	昭和五十四年度	六六
一	市議会議員選挙と会派構成の変動(四月二二日)	六六
二	昭和五十四年五月臨時会(五月一六日)	六六
三	昭和五十四年六月定例会(六月二二日と六月二三日)	六六
	丸井九月出店に伴う旧さいか屋ビル取得問題 一般質問での主な論点〔大・中規 模小売店の出店規制問題〕 議員表彰	
四	昭和五十四年九月定例会(九月一〇日と九月二六日)	六七
	一般質問での主な論点〔大規模地震対策 一般消費税への対応 北口再開発の完 了と問題点 北部地域の諸問題〕	
五	昭和五十四年十一月定例会(十一月二七日と十二月二二日)	六七
	昭和五十三年度決算の審議 議案の審議、請願の審査等 一般質問での主な論点 〔行財政改革問題 高校学区改編問題〕	
六	昭和五十五年二月市長選挙(無投票)	六八
七	昭和五十五年二月定例会(二月二六日と三月二七日)	六八
	都市計画税改定問題 昭和五十五年度予算の審議 その他の議案、意見書等	

第三節 昭和五五年度…………… 六八九

一 昭和五五年四月臨時会（四月二日）…………… 六八九

二 昭和五五年六月定例会（六月三日～七月二日）…………… 六八九

行政組織の再編問題 一般質問での主な論点〔暴走族対策 障害者福祉施策〕

委員会の再編と委員の改選 議員表彰

三 昭和五五年九月定例会（九月八日～九月二十五日）…………… 六八九

昆明市友好訪問団の来藤をめぐる問題 一般質問での主な論点〔国鉄藤沢駅駅ビ

ル問題 市民病院の増床問題 下水道整備〕その他の追加議案および意見書等

四 昭和五五年一月定例会（一月二十六日～二月一九日）…………… 七〇八

昭和五四年度決算の審議 合成洗剤追放に関する条例制定の直接請求 その他の

議案、意見書および人事案件、一般質問等

五 昭和五六年二月定例会（二月二十五日～三月二十六日）…………… 七四四

中央卸売市場業務条例の制定 代表質問での主な論点〔市民集会和市民参加 国

際障害者年と福祉施策〕昭和五六年度予算の審議 その他の人事案件、意見書

等

第四節 昭和五六年度…………… 七〇七

一 昭和五六年四月臨時会（四月六日）…………… 七〇七

二 昭和五六年六月定例会（六月九日～六月三〇日）…………… 七〇七

一般質問での主な論点〔核疑惑と厚木基地飛行問題 高齢化社会と老人福祉施

策」意見書、人事案件、各委員会委員の改選 議長選挙 議員表彰	七六
三 昭和五六年九月定例会（九月八日～九月二十五日）	七六
昆明市との都市提携 工事請負契約（石名坂焼却施設の建設） 一般質問、人事案件、意見書等	七六
四 昭和五六年二月定例会（二月二十五日～二月二十八日）	七六
昭和五五年度決算の審議 庁舎新館の建設に関連する工事請負契約 職員給与の改定 一般質問での主な論点（「親分、子分」発言をめぐる紛糾 行財政改革問題）をめぐって 辻堂駅周辺の諸問題）	七六
五 昭和五七年二月定例会（二月二十四日～三月二十六日）	七六
施政方針説明と代表質問 昭和五七年度予算の審議 意見書および請願	七六
第五節 昭和五七年度	七六
一 昭和五七年四月臨時会（四月六日）	七六
二 昭和五七年六月定例会（六月八日～六月二十九日）	七六
市議会議員の定数を減らす条例の制定 「核廃絶平和都市宣言」をめぐる議案の競合、撤回および再提出 その他の議案、一般質問、意見書等 各委員会委員の改選と副議長選挙 議員表彰	七六
三 汚職事件の発生と議会の対応	七六
事件の発生と六月定例会での緊急質問 議員全員協議会の開催 昭和五七年八月臨時会（八月一九日） 不祥事等調査及び防止特別委員会の活動	七六

四	昭和五七年九月定例会（九月七日～九月二十四日）	行政監察担当職員の新設	秋葉台公園体育館（仮称）の新設工事請負契約の締結	台風一八号による水害と被害者援護のための条例改正等	その他の議案、一般質問、人事案件、意見書等	九一
五	昭和五七年一〇月臨時会（二〇月一九日）	九三
六	昭和五七年一二月定例会（十一月二十四日～十二月一七日）	九三
	昭和五六年度決算の審査と黒字額全国第一位をめぐる対応	老人保健法制定への対応	一般質問での主な論点〔湘南ライフタウンをめぐる諸問題 災害対策〕	人事案件、意見書等	九四
七	昭和五八年二月定例会（二月二三日～三月二六日）	九五
	ニチイ出店に関する不祥事と与党議員の辞職	議案の審議と各委員会の主な活動	施政方針説明と代表質問	昭和五八年度予算の審議	緊急質問と会期の延長	特別委員会の報告、人事案件、意見書等
	第五章 第一二期の市議会（昭和五八年度～六一年度）	九五
	——議会の活性化と野党攻勢——
	第一節 四年間の概観	九五
	中曽根内閣の発足と田中支配	行政改革と大型間接税	藤沢市議会の動き・会派の動向と市長選挙	地方行革と市政の展開	九五

第二節 昭和五八年度	六八
一 市議會議員選挙と会派構成の変動(四月二四日)	六八
二 昭和五八年五月臨時会(五月一八日)	六九
保守・中道による正副議長の独占	
三 昭和五八年六月定例会(六月七日と六月三〇日)	六九
故広谷甲二議員追悼演説と長田氏の繰り上げ当選 議会運営委員会の「申し合せ」	
一般質問〔職員の退職金問題〕 暴走族一掃の意見書 表彰議員の伝達式	
四 昭和五八年九月定例会(九月六日と九月二二日)	六九
一般質問 境川・引地川一級河川格上げの意見書	
五 昭和五八年一二月定例会(一一月二五日と一二月二二日)	七〇
議会議務局長の退職と自由同志会議員団の結成 退職手当条例の改正 国民健康保険条例の改正 一般質問	
六 昭和五九年二月市長選挙(二月一九日)	七〇
七 昭和五九年二月定例会(三月五日と三月三一日)	七〇
代表質問 職員定数の増員	
第三節 昭和五九年度	七三
一 昭和五九年四月臨時会(四月九日 第二回・四月二五日)	七三
四月臨時会(四月九日) 四月臨時会(第二回・四月二五日)	

二	昭和五九年五月臨時会（五月二日～五月二四日）	八七五
三	昭和五九年六月定例会（六月二日～六月三〇日）	八七六
	伊草前助役の再任辞退と二人助役制　組織改正と定数条例　意見書の提出　表彰 議員の伝達式	
四	昭和五九年七月臨時会（七月三一日）	八八三
五	昭和五九年九月定例会（九月六日～九月二二日）	八八四
	北口貨物ヤード跡地処分問題　茅ヶ崎市の学校教育事務受託期間の延長　一般質問	
六	昭和五九年一二月定例会（一月二七日～二月二二日）	八八九
	決算特別委員会　都市計画税の引き下げと特別職退職金の支給方法の改正　一般質問　教育長空席　議会棟の改装と市民ロビーの設置　アフリカ飢餓義援金の寄付	
七	昭和六〇年一月臨時会（一月二二日）	八九六
八	昭和六〇年二月定例会（二月二五日～三月二六日）	八九八
	市長の施政方針と各派の代表質問　みどり基金条例の制定　教育長の選任　横浜 市営地下鉄の湘南台乗り入れ決議　議員報酬の改定	
第四節 昭和六〇年度		
一	昭和六〇年四月臨時会（四月八日）	九二二
二	昭和六〇年六月定例会（六月七日～六月二九日）	九二三

	一般質問 議員全員協議会 公営揭示場設置の陳情 カドミウム流出事故 江の島の景観保護 マンション建設反対の陳情 議員表彰	九七
三	昭和六〇年七月臨時会（七月二九日）	九七
四	昭和六〇年九月定例会（九月六日～九月二六日）	九六
	公営ポスター揭示場の設置 情報公開条例の制定 一般質問 常任委員会での陳情審査	
五	昭和六〇年一二月定例会（一月二五日～二月二〇日）	九六
	昭和五九年度決算の認定 総務常任委員会の審査 一般質問	
六	昭和六一年一月議員全員協議会（一月二三日）	九五七
七	昭和六一年二月定例会（二月二五日～三月二七日）	九五〇
	昭和六一年度の施政方針と代表質問 予算等特別委員会 常任委員会の審査	
第五節	昭和六一年度	九六三
一	昆明市代表団の来藤（四月八日～四月一五日）	九六三
二	昭和六一年六月定例会（六月六日～六月三〇日）	九六六
	一般質問 総務常任委員会 民生常任委員会 文教、建設常任委員会 特別委員会	
三	昭和六一年九月定例会（九月八日～九月二六日）	九七
	一般質問 常任・特別委員会	
四	昭和六一年一二月定例会（一月二六日～二月二〇日）	九六九

「議員定数」問題で自然閉会 総務常任委員会―定数論議結論出す 民生、建設、
文教常任委員会

五 昭和六二年一月臨時会（一月一七日）……………九九六

六 昭和六二年二月定例会（二月二五日～三月二七日）……………九九六

決算特別委員会 昭和六二年度の施政方針と代表質問 予算等特別委員会 常任
委員会の動き

第六章 第一三期前半の市議会（昭和六二年度～六三年度）……………一〇一五

——昭和の終焉と消費税の導入——

第一節 二年間の概観……………一〇一五

消費税の導入とリクルート事件 市議会の動向と消費税

第二節 昭和六二年度……………一〇二一

一 市議会議員選挙と会派構成の変動（四月二六日）……………一〇二一

二 昭和六二年五月臨時会（五月二二日）……………一〇三三

三 昭和六二年六月定例会（六月八日～六月二六日）……………一〇三五

一般質問 各委員会での審査

四 昭和六二年九月定例会（九月七日～九月二五日）……………一〇三三

個人情報保護条例の制定と都市提携 一般質問 常任委員会

五 昭和六二年一二月定例会（一一月二六日～一二月二三日）……………一〇四一

決算特別委員会 一般質問 常任・特別委員会の動き	
六 昭和六三年二月定例会（三月四日～三月三〇日）	二四九
昭和六三年年度の施政方針と代表質問 予算等特別委員会―野外体験施設予算凍結 常任委員会の動き	
第三節 昭和六三年度	二六七
一 昭和六三年六月定例会（六月三日～六月二八日）	二六七
一般質問 常任・特別委員会の動き	
二 昭和六三年九月定例会（九月五日～九月二二日）	二七五
一般質問 常任・特別委員会の動き	
三 昭和六三年十一月定例会（十一月二八日～十二月二二日）	二八五
決算特別委員会 一般質問 常任委員会の動き	
四 平成元年二月定例会（二月二五日～三月二九日）	二九六
平成元年度の施政方針と代表質問 予算等特別委員会 常任・特別委員会の動き	
藤沢市議会史編さん基本方針	二二七
藤沢市議会史編さん要綱	二一九
藤沢市議会史編集委員会設置規程	二二三
あとがき	

細 目 次

市議会史編さん委員会
編集関係者

表・図目次

序章

表序―1	市人口の推移（国勢調査）	四
表序―2	就業人口等の推移	五
表序―3	総合計画の歴史	八
表序―4	財政規模の推移	三
表序―5	財政力および財政構造の弾力性の推移	三
表序―6	目的別経費構成の推移（普通会計）	三
表序―7	職員定数の推移	四
表序―8	歴代市長一覧	三
表序―9	現在の市議会委員会	三
表序―10	市議会会議の主なルール	四
表序―11	市議会の主な議決事項	七
表序―12	現在の市議会党派一覧	元
表序―13	市議会議員選挙の推移	六
表序―14	市議会議員数地区別の推移	六

表序―15 神奈川県内の各市議會議員定数……………15

図 市域変遷図……………15

第1章

表1 藤沢市普通会計の推移（昭和四二年度～四六年度決算）……………19

表44―1 各委員会正副委員長一覧（昭和四四年六月選出）……………29

表44―2 西部土地区画整理事業の概要（昭和四五年三月現在）……………33

表45―1 各委員会正副委員長一覧（昭和四五年六月選出）……………27

表45―2 交通事故発生状況……………23

表45―3 建築協定の締結状況……………24

図 市街化区域・市街化調整区域「線引き」県素案図……………19

第2章

表1 藤沢市人口の推移（昭和四五年～五〇年）……………22

表2 藤沢市普通会計の推移（昭和四六年度～四九年度決算）……………22

表3 議案等の処理状況（昭和四六年度～四九年度）……………26

表46―1 第七回市議會議員選挙の党派別得票状況（昭和四六年四月二五日執行）……………28

表46―2 各委員会正副委員長一覧（昭和四六年五月選出）……………28

表47―1 昭和四七年度予算等特別委員会審査日程……………29

表47―2 各委員会正副委員長一覧（昭和四七年六月選出）……………29

第3章

表47―3	議会委員会条例(名称・所管事項)の改正(別表 昭和四八年五月一六日施行)	三六
表48―1	各委員会正副委員長一覧(昭和四八年六月選出)	三六
表49―1	各委員会正副委員長一覧(昭和四九年六月選出)	三七
表49―2	大型店進出による市町別業種別影響調査表	三六
図	市民病院外来診療方法図	三三
図	事務分掌条例改正(議案第一〇六号)の訂正	二九
図	藤沢駅北口市街地再開発事業計画図	三三
表1	昭和四七年度～五六年度の市財政の状況	四四
表2	下水道整備五カ年計画の推移と実績(昭和三八年度～平成二年度)	四五
表3	藤沢駅北口市街地再開発事業の経過(昭和四五年～五五年)	四七
表4	昭和五〇年度～五三年度の議会開催日数	四三
表5	昭和五〇年度～五三年度の提出議案の分類	四三
表6	昭和五〇年度～五三年度の議案の処理状況	四三
表7	昭和五〇年度～五三年度の各委員会正副委員長の会派別内訳	四三
表50―1	第八回市議会議員選挙の党派別得票状況(昭和五〇年四月二七日執行)	四七
表50―2	各委員会正副委員長一覧(昭和五〇年五月選出)	四七
表52―1	各委員会正副委員長一覧(昭和五二年六月選出)	四六

表 53 1	各委員会正副委員長一覧（昭和五三年六月選出）	六〇〇
図	藤沢駅北口市街地再開発事業区域の施行前と施行後	四八
図	請願で争点となつた辻堂南部都市計画道路位置図	五二
第4章		
表 1	昭和五四年度～五七年度における財政構造の推移	六〇
表 2	昭和五四年度～五七年度議会開催日数	六三
表 3	昭和五四年度～五七年度提出議案の分類	六三
表 4	昭和五四年度～五七年度の議案等の処理状況	六三
表 5	昭和五四年度～五七年度各委員会正副委員長の会派別内訳	六四
表 54 1	第九回市議会議員選挙の党派別得票状況（昭和五四年四月二二日執行）	六七
表 54 2	各委員会正副委員長一覧（昭和五四年五月選出）	六九
表 55 1	議会委員会条例（所管事項）の改正（別表 昭和五五年七月一日施行）	六一
表 55 2	各委員会正副委員長一覧（昭和五五年六月選出）	六七
表 55 3	藤沢市石けん利用推進委員会の設置及び運営に関する条例制定請求の経過	七一
表 56 1	藤沢市における年齢構造の推移	七二
表 56 2	各委員会正副委員長一覧（昭和五六年六月選出）	七三
表 57 1	各委員会正副委員長一覧（昭和五七年六月選出）	七三
表 57 2	昭和五六年度市税収入の状況	八四

図	最近五年間の歳出決算額の推移（普通会計）	六四〇
図	中華人民共和国雲南省昆明市の位置図	七〇〇
図	地区市民集会のしくみ	七四〇

第5章

表 58—1	第一〇回市議会議員選挙の党派別得票状況（昭和五八年四月二四日執行）	六九六
表 58—2	各委員会正副委員長一覧（昭和五八年五月選出）	六四一
表 59—1	各委員会正副委員長一覧（昭和五九年六月選出）	六七七
表 60—1	各委員会正副委員長一覧（昭和六〇年六月選出）	六九三
表 61—1	各委員会正副委員長一覧（昭和六一年六月選出）	六九七
図	市議公会派の変遷（昭和五六年九月～六二年四月）	六三三
図	市職員定数と市人口の推移（昭和五六年度～六三年度）	六三三

第6章

表 62—1	第一一回市議会議員選挙の党派別得票状況（昭和六二年四月二六日執行）	一〇三三
表 62—2	各委員会正副委員長一覧（昭和六二年五月選出）	一〇四四
表 63—1	各委員会正副委員長一覧（昭和六三年六月選出）	一〇六二